与野本町駅周辺地区
まちづくりニュース 第6号

発行元　与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会 【発行月：平成30年7月】

1 平成３０年度総会を開催しました

- 協議会会員２７名のうち１７名が出席し、平成２９年度の事業報告・決算、役員の改選（案）、平成３０年度の事業計画（案）・予算（案）について承認されました。
- 新規会員として、４名の方が入会しました。

開催概要

日　時：平成３０年５月２７日（日）
　　１０時００分～１１時３０分
場　所：中央区役所３階 大会議室
出席者：協議会会員、市職員等

平成３０年度の活動開始にあたって

与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会は一昨年に発足し２年目を迎えました。昨年度はワークショップや研究を進め、まちづくりに対する考え方・方向性を検討し、本年度は、さらに具体性をもった研究・提案ができるよう検討を進めていきます。
私たちは素人ですが、市民目線で、自分たちの住むまちが、子の世代、孫の世代にも満足できるまちになることを目指したいと思います。
ご協力をよろしくお願いいたします。

会長　望月三之

平成３０年度の活動方針・事業計画

総会の様子

今年度の活動方針・事業計画は、以下のとおりとなりましたので、皆さまにお知らせいたします。

■活動方針

- 協議会の目的の達成に向けて、地域の皆様と行政との協働により、与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランに掲げたリーディングプロジェクト１、３、４の施策の展開に向けた活動を行っていきます。
- 広報活動を継続的に行い、地域の皆様に分かりやすい情報を発信していきます。

■事業計画

- 総会を開催し、平成３０年度の活動内容や平成３１年度の活動予定を協議会会員と共有し、本協議会の活動内容を広く周知します。また、適宜役員会を開催します。
- 「中央区役所周辺をはじめとした３拠点の強化分科会」、「歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会」、「芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会」を開催し、リーディングプロジェクトに係る施策の具体的な内容の検討等を行っていきます。
- 与野本町駅周辺地区まちづくりニュースを発行し、協議会の活動を周知していきます。

基調講演

講師　小嶋 文 氏（埼玉大学大学院理工学研究科准教授）

- 地区交通計画を専門とする、埼玉大学大学院理工学研究科准教授である小嶋氏に講演していただきました。
- 「交通社会実験の実例について」をテーマに、安全な歩行空間を確保するため、「歩行空間をひろげよう」、「くるまをゆっくり走らせよう」、「抜け道するくるまをなくそう」の３つの具体的な取り組み内容について、他都市の実例紹介を通してお話いただきました。

2 今年度のスケジュール

リーディングプロジェクト（LP）の実現に向けた活動が始まります！

平成２９年度は、**ＬＰ１「中央区役所周辺をはじめとした３拠点の強化分科会」**を設置し、まちづくりに関するワークショップや与野本町駅周辺の利便性向上に向けたアンケート調査等を行いました。
また、**ＬＰ３「歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会」**及び**ＬＰ４「芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会」**では、合同ワークショップを開催し、平成３０年度から取り組む施策内容について決めました。
今年度は、この３つの分科会で、**「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン」**のリーディングプロジェクトに係る施策の具体的な内容の検討を進めていきます。
活動状況については、この「まちづくりニュース」で随時お知らせしてまいります。

分科会	活動内容	開催回数
＜ＬＰ１＞ 中央区役所周辺をはじめとした３拠点の強化分科会	• 平成３０年度活動内容の確認 • 「中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアル」、「与野中央公園整備によるみどり拠点の強化」、「与野本町駅周辺の利便性の向上」に係る意見交換等の取組の実施 • 平成３１年度の活動内容の確認	計３回程度
＜ＬＰ３＞ 歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会	• 平成３０年度活動内容の確認 • 「交通社会実験実施計画の検討」、「建築物等に関するルール」、「まちの歴史の情報発信」に係る意見交換等の取組の実施 • 平成３１年度の活動内容の確認	計５回程度
＜ＬＰ４＞ 芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会	• 平成３０年度活動内容の確認 • 「彩の国さいたま芸術劇場・学校・地域が連携した新規イベント」、「手形レリーフ設置」についての意見交換等や取組の協議 • 平成３１年度の活動内容の確認	計４回程度

みなさんもまちづくりに参加しませんか？

◆ 与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会について

- 平成２７年１１月、与野本町駅周辺の将来像を示す**「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン」**がさいたま市により策定されました。
- このプランで位置付けられた６つのリーディングプロジェクト（ＬＰ）を実現していくため、私たちは平成２８年１１月に**「与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会」**を設立し、地域住民が主体となり、行政と協働しながら本格的なまちづくりの活動をしています。

◆ 与野本町駅周辺地区のまちづくりを一緒に取り組みませんか

- 協議会では、まちづくりの具体的な取組内容や実施に関する検討をしています。中央区内にお住まいの方、お勤めの方で、協議会の目的にご賛同、ご協力いただける方の入会をお待ちしています!!

こんな方をお待ちしています
- **与野本町駅周辺地区をもっと魅力あるまちにしたい**
- **みんなが使うスペース（公共の建物、公園、道路等）を使いやすくしたい**
- **身の回りの住環境を良くしたい**

- これまでの活動や取組について、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会のページ（市ホームページ内）
http://www.city.saitama.jp/001/010/015/006/p051202.html
与野本町　まちづくり推進協議会　検索

こちらのQRコードからもご覧いただけます

【問合せ先】 ※まちづくりニュースに関するご意見は、下記までお問い合わせ下さい。
さいたま市 都市局 まちづくり推進部 与野まちづくり事務所 管理係
住所　〒338-8686 さいたま市中央区下落合5丁目7番10号（中央区役所4階）
電話　048-840-6153　　ファックス　048-840-6155
メールアドレス　yono-machidukuri@city.saitama.lg.jp

芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会

［与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン　リーディングプロジェクト４］

第２回分科会を開催しました！

- 「芸術のまち」を区内外の方々に周知する具体的な内容として、「芸術劇場と地域が連携した新規イベントの実施計画について」と「手形レリーフの今後の設置計画について」意見交換を行いました。下記のような主な意見があり、今後も具現化に向けて検討します。

【芸術劇場と地域が連携した新規イベントの実施計画について】

- ●芸術劇場を中心に既存のイベントとコラボしたものがいいのでは
- ●地域のアーティストを紹介してイベント等に参加してもらう
- ●地域の活性のために本町通りの商店との連携も必要では

【手形レリーフの今後の設置計画について】

- ●地域資源である手形レリーフにもっと身近に触れられるように設置環境を整備してみては
- ●与野本町駅から来て手形レリーフが、どこに・誰の手形があるかわかるような案内やPRを行うことが必要では

まちづくりに一緒に取り組みませんか？

◇与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会とは

- 平成２７年１１月、与野本町駅周辺の将来像を示す**「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン」**がさいたま市により策定されました。
- このプランで位置付けられた**６つのリーディングプロジェクト（ＬＰ）を実現していくため**、私たちは平成２８年１１月に**「与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会」**を設立し、地域住民が主体となり、行政と協働しながら本格的なまちづくりの活動をしています。

※本協議会は行政と協働しながら地域主体のまちづくりに取り組んでおり、個人の要望や要求をする場ではありません。

◇ 与野本町駅周辺地区のまちづくりに一緒に取り組みませんか

- 協議会では、まちづくりの具体的な取組内容や実施に関する検討をしています。**中央区内にお住まいの方やお勤めの方で、協議会の目的にご賛同、ご協力いただける方の入会をお待ちしています！！**
- これまでの活動や取組について、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会のページ（市ホームページ内）

http://www.city.saitama.jp/001/010/015/006/p051202.html

与野本町　まちづくり推進協議会　検索

こちらのQRコードからもご覧いただけます

【問合せ先】 ※まちづくりニュースに関するご意見は、下記までお問い合わせ下さい。

さいたま市 都市局 まちづくり推進部 与野まちづくり事務所 管理係

住所：〒338-8686 さいたま市中央区下落合5-7-10（中央区役所4階）

電話：048-840-6153　　ファックス：048-840-6155

メールアドレス：yono-machidukuri@city.saitama.lg.jp

与野本町駅周辺地区 まちづくりニュース 第7号

発行元　与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会【発行月：平成30年11月】

第7号のトピックス

＜中央区役所周辺をはじめとした3拠点の強化分科会＞

◆今年度の活動内容等について意見交換を行いました　▶表面

＜歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会＞

◆第2回分科会「本町通りのまちづくりに活かしてみたいヒントを考える」を開催しました　▶中面

◆まちづくり先進地区（日光街道市宿、中仙道蕨宿）視察会を実施しました　▶中面

＜芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会＞

◆今年度の活動内容等について意見交換を行いました　▶裏面

＜ご案内＞

◆みなさんもまちづくりに参加しませんか？　▶裏面

中央区役所周辺をはじめとした３拠点の強化分科会

［与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン　リーディングプロジェクト１］

第１回分科会を開催しました！

- 今年度の活動内容等について意見交換を行い、活動候補として以下が挙げられました。

【活動候補】

- ● 複合化された公共施設の視察（市内外の事例の共有）
- ● 与野中央公園予定地の現地確認
- ● 与野本町駅周辺の現地確認（駅利用者等のアンケート調査結果を踏まえた確認）

- 平成２９年度の取組や平成３０年度の主な取組状況等について市から情報提供がありました。また、公共施設再編の事例や与野本町駅周辺の現状、与野中央公園の基本計画の内容等について情報を共有しました。

【LP1に係る平成３０年度の市の主な取組状況】

- ●中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアル
  ⇒　上位計画等を踏まえたゾーニング(考え方)の検討
- ●与野本町駅周辺の利便性の向上
  ⇒　与野本町駅西口駅前の再整備の検討
- ●与野中央公園によるみどり拠点の強化
  ⇒　公園整備に向けた検討

LP 3 歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会

［与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン　リーディングプロジェクト３］

「第2回分科会」の開催結果（意見交換会を実施）

沿道住民の暮らしからまちづくりのヒントを得るため、本町通り沿道に長く住まわれている「望月弘子さん」に本町通りの暮らしの歴史についてお話を伺いました。

開催概要
日　時：平成30年7月9日（月）
　　18時00分～20時30分
場　所：中央区役所

望月さんのお話し　～本町通りの暮らしの歴史について～

望月弘子さん

昔の本町通り沿道の家は、道路から引いた位置に家が建てられていました。

昭和10年代では、（月遅れの行事で４月に桃の節句、６月に端午の節句が行われていたので）３月、５月の２４日と２９日に四・九の市が開かれ、３月には雛人形、５月には鎧兜などが、また、暮れの市では、お正月用品、神棚、杵臼、羽子板などが売られていました。

塀が少なく、簡単な垣根くらいでしたので、子供たちが道路に出なくても隣近所の軒下を行ったり来たりして遊んでいました。家の庭にお稲荷様があり、初午の時には、子供たちが太鼓をたたき、食事やお菓子を持ち寄って、大勢の人が食事をするなど楽しく賑やかでしたよ。

現在も井戸が残るお宅がありますが、当時の生業は綿の織物など機屋が多かったです。藍染めの甕が家の中にあり、井戸を3つ4つお持ちのお宅もありました。昔から水が枯れるということはほとんどありませんでした。本町通りは昔と比べて、ほんとに商店が少なくなり、買い物客として歩いている人も少なくなりましたが、今でも裏通りで子供が遊んだり、夏祭り等のときはバーベキューをしたりとご近所のつながりは深いですね。

本町通りのまちづくりに生かしてみたいヒントを考える

望月さんのお話を踏まえて、まちづくりに生かせそうなことや本町通りの課題等について意見交換会を行い、今後のまちづくりに生かしてみたいヒントとして取りまとめました。

【意見の取りまとめ結果】

＜まちづくりに生かしてみたいヒント（意見概要）＞

●前庭空間を少しでも復活できるとよい。
●蔵をどうするのか？本町通りの売りにするのかどうか？
●与野は「水」の良いところであった。
●井戸の周りに集えるといい。
●毎月4と9がつく日に市（いち）を開いていた。
●市（いち）を本町通りでもできないか。
●狭い、歩きづらい、通りたくないイメージの払拭が必要。
●地域内での連携（地域コミュニティ）ができるといい。

「まちづくり先進地区現地視察会」の開催結果

与野本町の歴史を生かしたまちづくりを検討するため、歴史景観を生かしたまちづくりを実践する日光御成道市宿（岩槻区）及び中仙道蕨宿（蕨市）への現地視察を実施しました。

開催概要
日　時：平成30年8月27日（月）
　　13時00分～17時30分
場　所：日光御成道市宿、中仙道蕨宿

日光御成道市宿に関する概要・感想

＜まちづくりの概要＞

◇日光御成街道の宿場町として発展
◇本町通りと同規模の計画幅員約16mの通りを整備
◇市民商店会の人々が中心となって「市宿通り道路整備協議会」を設立し、視察会や勉強会、意見交換会を重ね、平成12年に「まちづくり規範」を策定。建物の保存や色彩の調和など、地域の自主ルールを定めてまちづくりを実践。

＜参加者の感想＞

・街づくりは地元の熱心な取り組みが必要。
・街づくりと併せて賑わいの創造の仕掛けづくりが必要。
・景観と商店の活性化とは別なのだと感じた。
・歩道は広く、大きな車が通っても不安がなく良い。また、合意形成は多くの労力が必要であると感じた。

中仙道蕨宿に関する概要・感想

＜まちづくりの概要＞

◇中仙道で江戸から2番目の宿場町として発展
◇本町通りと同規模の幅員約9mの通りを有する
◇平成3年に地域住民を中心に中仙道蕨宿まちなみ協議会を発足し、平成6年に中仙道蕨宿まちなみ協定を締結。協議会が指定した景観建築物（歴史的景観である古い建築物）の修復、建築物の建築や外構の修景に対して対象経費を助成。

＜参加者の感想＞

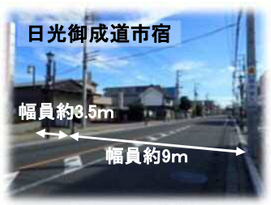
・細かなところに工夫があるところ（排水路の模様など）が、歴史的なものを守るだけでなく、現代的なところもあり面白い。
・狭い道路幅員で、人と車のスペースのバランスをうまく割り振っていることに感心、狭い中にポイントで植栽、ベンチを設えている工夫も非常に効果的。

先進地区から学ぶ歴史を生かしたまちづくりのアイデア

歴史景観を生かしたまちづくりを実践する日光御成道市宿、中仙道蕨宿への現地視察を踏まえ、本町通りのまちづくりに生かしたいアイデアを出し合い、本町通りのまちづくりの将来イメージを膨らますきっかけとなりました。

＜本町通りのまちづくりで実施してみたいアイデア（意見概要）＞

●蕨宿のように色分けされた道路区分は良い。
●まちなみ協定を設けて、統一感のある道路が良い。
●統一感を出すための基準作りが大切だと思った。
●子どもが自然に集まってくるような、施設なりお店（駄菓子屋等）やお年寄りの集まれる場所があると良い。
●本町通りでも、市（いち）を開催してはどうか。
●地域の中での横のつながり、多世代のつながりが生まれるようなきっかけ（ハード面でなくソフト面の充実）があると良い。
●まちづくりでは、若い世代も巻き込めると良い（アイデアの宝庫）。
●道路の拡張無しでも本町通りはまだまだやれることはあると感じた。
●側溝と歩道の一体化で広さを錯覚させる等、まずは動くことが大事。



今後の展開

今後の本町通りのまちづくりを検討する上で重要となるまちづくりの経緯や活動の内容・整備内容等を先進地区から学びました。今後は、**与野本町の歴史を生かしたまちづくりの将来イメージを膨らませ、何をしたら良いのかを具体的に考えていきます。**

与野本町駅周辺地区
まちづくりニュース 第8号

発行元　与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会 【発行月：平成31年4月】

第8号のトピックス

＜歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会＞ ▶ 表面
◆第3回～第6回分科会を開催しました！
＜中央区役所周辺をはじめとした3拠点の強化分科会＞ ▶ 中面
◆プラザノース「北区役所」の現地視察を行いました！
◆与野中央公園・与野本町駅周辺の現地確認を行いました！
＜芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会＞ ▶ 裏面
◆第3回、第4回分科会を開催しました！
＜ご案内＞ ▶ 裏面
◆平成31年度総会のご案内

LP3 歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会

［与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン　リーディングプロジェクト３］

第３回～第６回分科会を開催しました！

第3回分科会 *将来像を膨らませ、まちづくりの進め方を考える*

まちづくり先進地区視察会（H30.8開催）を踏まえ、歴史資源を活かしたまちづくりの目的について考え、本町通りの将来像を膨らませ、まちづくりの進め方について意見交換を行いました。

第4回分科会 *まちづくりに活かす視点を考える*

本町通りの歴史や魅力を今後のまちづくりに活かす視点を考えるため、本町通りの課題や対策項目、具体的な方策について意見交換を行いました。

第5･6回分科会 *沿道住民のみなさんに関心を持ってもらう取組を考える*

沿道住民のみなさんに、今後の本町通りのまちづくりについて関心を持ってもらうための取組について、意見交換を行いました。

来年度の分科会活動として以下のような意見があり、取組の実現に向けて検討を進めていきます。

前庭空間（空き駐車場等）をお借りして・・・
例えば、

- 花壇やベンチ等を設置し、沿道を花で彩る
- 沿道のお店の協力を得て、前庭空間に出店を出してもらう
- 外部の人の協力を得て、キッチンカーなど若い人も来たくなる、集える場をつくる
- イベントと連携した取組を行い、周辺との波及効果をねらう

LP4 芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会

［与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン　リーディングプロジェクト４］

第３回、第４回分科会を開催しました！

第３回分科会では「芸術のまち」を区内外の方々に周知する具体的な方法として、「芸術劇場と地域が連携した新規イベント事業概要(案)」や「平成３１年度以降の手形レリーフ設置計画(案) 」について意見交換を行ない、下記のような主な意見がありました。

また、第４回分科会では「新規イベント準備スケジュール(案)」について意見交換を行なうなど、今後も具現化に向けて検討します。

【芸術劇場と地域が連携した新規イベントの主な事業概要(案)について 】

- 芸術劇場と連携したイベントを平成３１年１０月に向けて検討する
- 芸術劇場施設・与野本町駅前公園などでパフォーマンスを計画する
- 地元アーティストや与野本町駅周辺の小・中・高校などに参加を呼び掛ける

【平成31年度以降の手形レリーフ設置計画（案）について】

- シェイクスピア・シリーズが37作品中34作まで進んでいるため今後の手形レリーフ設置と環境整備について検討する
- 手形レリーフの環境整備に向けて、関係団体との調整や環境整備実施に向けた調査を行う

平成３１年度 総会のご案内

開催日時　平成31年5月26日 （日） 10時00分

会　　場　さいたま市中央区役所3階 大会議室

議　　題　平成30年度事業報告及び決算
平成31年度事業計画（案）及び予算（案）

基調講演「公民連携による公共空間利活用について」
講師：株式会社ENdesign代表取締役／さいたま市PPPコーディネーター　宮本恭嗣 氏

プロフィール
大学卒業後、再開発事業コンサルティングに従事するも、成長を前提とした開発手法に疑問を感じ、東洋大学大学院公民連携専攻修了を機に独立。各地で公民連携の仕組みづくりやリノベーションまちづくりに取り組む。平成30年4月より、非常勤特別職として、さいたま市PPPコーディネーターに着任し、PPPの企画立案や庁内の啓発に取り組む。
※PPP（ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ・ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄ・ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ）：公民が連携して公共サービスの提供を行う手法

- 本協議会の総会は公開しますので、当日お気軽に会場へお越し下さい。（事前申込みは不要です。）なお、傍聴席には限りがありますので、ご了承ください。
- 駐車場には限りがありますので、徒歩又は公共交通でお越しください。

【問合せ先】 ※まちづくりニュースに関するご意見は、下記までお問い合わせ下さい。
さいたま市 都市局 まちづくり推進部 与野まちづくり事務所 管理係
住所：〒338-8686 さいたま市中央区下落合5-7-10（中央区役所4階）
電話：048-840-6153　　ファックス：048-840-6155
メールアドレス：yono-machidukuri@city.saitama.lg.jp

中央区役所周辺をはじめとした３拠点の強化分科会

［与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン　リーディングプロジェクト１］

プラザノース「北区役所」の現地視察を行いました！

プラザノースの運営会社の方から、施設の概要について説明を頂き、北図書館をはじめ、文化施設であるホール、自由読書スペース、セミナールーム、アトリエ、音楽スタジオなどを見学しました。

開催日時
平成31年1月21日(月)
15時00分～17時00分

運営会社からの説明概要

- 北区が漫画にゆかりのある場所ということもあり、ユーモアと芸術というコンセプトで作られている。また、天井を高くし、ガラス張りにするなど、開放感のある作りにしている。
- 各施設全体の平均稼働率は37%である。なお個別施設の稼働率としては、ホールが60%、音楽スタジオは90～100%などとなっている。

参加者の主な感想

- 複合化により地域住民が利用できる施設が多く、多様になっていることが印象的だった。
- 図書館や文化施設など集約された区役所が良いが、全体はもう少しコンパクトでも良いと思う。
- 採算が取れるような工夫を考えるのは重要であり、中央区役所の建て替えでは、出来るだけ健全な運営費を視野に入れるべきだと思う。

与野中央公園の現地確認を行いました！

与野中央公園の基本計画ゾーニング図を片手に将来イメージを思い描きつつ、計画予定地内を歩きながら、現地の状況を確認しました。

開催日時
平成30年11月25日(日)
15時00分～16時00分

参加者の主な意見

- 北側エントランス部分にも駐車場があるとよい。
- バーベキューができる施設があるとよい。
- タツミ通りまで公園を拡げて、水路沿いにアプローチを設置するとよい。
- 公園整備に合わせて鴻沼川の護岸も整備して親水空間を作り、橋を架けた方がよい。
- 100年後には自然林のようになるとよい。
- 調節池の広い底面を有効に利用できるよう、キャンプ場や自然観察池のようなものを作ったらよい。

与野本町駅周辺の現地確認を行いました！

駅周辺を歩きながら、現地の状況等を把握し、分科会で空間の使い方や利用者のモラル、整備に関することなど、現地確認で出た意見を分類分けした結果について共有しながら、意見交換を行いました。

開催日時
平成30年11月25日(日)
13時30分～15時00分

現地確認の共有と意見交換の概要

＜現地確認の状況＞

＜現地確認結果を踏まえた主な意見＞

- 西口駅前のロータリーが狭く、一般車で送迎する際の使い勝手が悪いという一方で、一般車のスペースを設けてしまうとそれを助長する可能性もある。
- 西口の南側の高架沿いの道路は、自動車だけではなく、自転車、歩行者の利用も多く、いろいろな交通が混在しており危ない。
- 西口の駅前公園は子供がいることが多く、一方で東口のベンチは大人が利用することが多いなど、東口と西口で使う方の世代が異なっている。
- 与野中央公園の整備や中央区役所の建て替えなどの今後の動向を踏まえた人の流れを見据えて、駅前空間の活用を考えてはどうか。

与野本町駅周辺地区
まちづくりニュース 第9号

発行元　与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会　【発行月：令和元年7月】

1 令和元年度総会を開催しました

- 協議会会員２５名のうち１６名が出席し、平成３０年度の事業報告・決算、令和元年度の事業計画（案）・予算（案）について承認されました。

開催概要

日　時：令和元年５月２６日(日)
　　１０時００分～１２時００分
場　所：中央区役所３階 大会議室
出席者：協議会会員、市職員等

令和元年度の活動開始にあたって

今回で、定期総会が3回目となりました。本協議会は、行政との協働でまちづくりを進めていくとあり、今年度の中央区長マニュフェストで関連するところで、ぜひ連携して頑張っていきたいと思います。
まちづくりは、息の長い事業でございます。私たちもゴールがどこにあるのかわからない中で手探りで進めていますが、思いは、この中央区をより良くしていきたいという思いでやっているところです。皆様のご理解とご協力賜りながら進めてまいりたいと考えております。

会長　望月三之

令和元年度の活動方針・事業計画

総会の様子

今年度の活動方針・事業計画は、以下のとおりとなりましたので、皆さまにお知らせいたします。

■活動方針

- 協議会の目的の達成に向けて、地域の皆様と行政との協働により、与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランに掲げたリーディングプロジェクト１、３、４の施策の展開に向けた活動を行っていきます。
- 広報活動を継続的に行い、地域の皆様に分かりやすい情報を発信していきます。

■事業計画

- 総会を開催し、平成３０年度の活動内容や令和元年度の活動予定を協議会会員と共有し、本協議会の活動内容を広く周知します。また、適宜役員会を開催します。
- 「中央区役所周辺をはじめとした３拠点の強化分科会」、「歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会」、「芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会」を開催し、リーディングプロジェクトに係る施策の具体的な内容の検討及び施策を実施していきます。
- 与野本町駅周辺地区まちづくりニュースを発行し、協議会の活動を周知していきます。

基調講演

講師　宮本 恭嗣 氏（株式会社ENdesign代表取締役／さいたま市PPPコーディネーター）

- 各地で公民連携の仕組みづくりやリノベーションまちづくりに取り組んでこられた宮本氏に講演していただきました。
- 「公民連携による公共空間利活用について」をテーマに、公共施設維持更新問題をとりあげ、公共のあり方、公民連携について、海外事例として「ブライアントパーク」、国内事例として「南池袋公園」「魚町サンロード」「鳥町ストリートアライアンス」など他都市の具体的な取り組み内容について、実例紹介を通してお話いただきました。

※PPP（ﾊﾟﾌﾞﾘｯｸ・ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄ・ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ）：公民が連携して公共サービスの提供を行う手法

2 今年度のスケジュール

リーディングプロジェクト（LP）の実現に向けた活動を進めます！

平成３０年度における本協議会の活動では、LP１「中央区役所周辺をはじめとした３拠点の強化分科会」においては、各プロジェクトの取組として現地確認や現地視察を行いました。また、LP3「歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会」及びLP４「芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会」では、令和元年度に行政が取り組む交通社会実験や新規イベントに関する意見交換を行いました。
今年度は、各分科会で、行政と協働でリーディングプロジェクトに係る施策を進めます。活動状況については、この「まちづくりニュース」で随時お知らせしてまいります。

組織	活動内容	開催回数
＜ＬＰ１＞ 中央区役所周辺をはじめとした３拠点の強化分科会	• 「中央区役所周辺の公共施設再編と空間のリニューアル」、「与野中央公園整備によるみどり拠点の強化」、「与野本町駅周辺の利便性の向上」の各プロジェクトにおける分科会の取組に関する検討や意見交換、市の検討状況に応じた意見交換等 • 令和２年度の活動内容の確認	計３回程度
＜ＬＰ３＞ 歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会	• （仮称）本町通り交通社会実験に併せて、分科会として取り組んでいく方策について意見交換及び実施 • 「建築物等に関するルール」、「まちの歴史の情報発信」に係る意見交換等の取組の実施 • 令和２年度の活動内容の確認	計４回程度
＜ＬＰ４＞ 芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会	• 「彩の国さいたま芸術劇場・学校・地域が連携した新規イベント」に関する意見交換及び実施 • 手形レリーフ設置と環境整備の検討 • 令和２年度の活動内容の確認	計４回程度

まちづくりに一緒に取り組みませんか？

◇与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会とは

- 平成２７年１１月、与野本町駅周辺の将来像を示す**「与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン」**がさいたま市により策定されました。
- このプランで位置付けられた**６つのリーディングプロジェクト（ＬＰ）を実現していくため**、私たちは平成２８年１１月に**「与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会」**を設立し、地域住民が主体となり、行政と協働しながら本格的なまちづくりの活動をしています。

※本協議会は行政と協働しながら地域主体のまちづくりに取り組んでおり、個人の要望や要求をする場ではありません。

◇ 与野本町駅周辺地区のまちづくりに一緒に取り組みませんか

- 協議会では、まちづくりの具体的な取組内容や実施に関する検討をしています。**中央区内にお住まいの方やお勤めの方で、協議会の目的にご賛同、ご協力いただける方の入会をお待ちしています！！**
- これまでの活動や取組について、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会のページ（市ホームページ内）
http://www.city.saitama.jp/001/010/015/006/p051202.html

与野本町　まちづくり推進協議会　検索

こちらのQRコードからもご覧いただけます

【問合せ先】 ※まちづくりニュースに関するご意見は、下記までお問い合わせ下さい。
さいたま市 都市局 まちづくり推進部 与野まちづくり事務所 管理係
住所：〒338-8686 さいたま市中央区下落合5-7-10（中央区役所4階）
電話：048-840-6153　　ファックス：048-840-6155
メールアドレス：yono-machidukuri@city.saitama.lg.jp

与野本町駅周辺地区
まちづくりニュース　第10号

発行元　与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会　　【発行月：令和2年1月】

第10号のトピックス

＜歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会・芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会＞
- ◆ 第1回、第2回分科会を開催しました。 ▶ 表面
- ◆ 市が実施する本町通り交通社会実験が始まりました。

＜中央区役所周辺をはじめとした3拠点の強化分科会＞
- ◆ 中央区役所周辺の公共施設再編の検討状況について情報共有を図りました。 ▶ 中面
- ◆ 与野中央公園の整備及び与野本町駅周辺の利便性向上に係る検討状況について情報共有を図りました。 ▶ 裏面

＜芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会＞ ▶ 裏面
- ◆第2回、第3回分科会を開催しました。

LP 3 歴史を伝える本町通りのまちづくり分科会
［与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン　リーディングプロジェクト３］

第1回、第2回分科会を開催しました！

前庭空間活用の取組について、意見交換を行いました！

市が実施する社会実験で広がる歩行空間と前庭空間を活用して、本町通りのにぎわいの創出について、検討を進めています。

今後、本町通りでのイベント等に合わせて、イスなどを設置して休憩スペースを設けたり、キッチンカーを出店できないか検討していきます。

本町通りの街並みについて、検討しました！

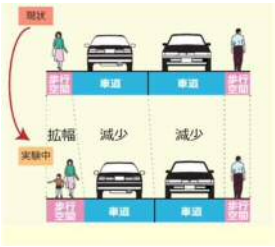
短・中期の本町通りの街並みについて、検討を行いました。分科会としての本町通りを軸とした街並みルール案に繋げていきます。

市が実施する本町通り交通社会実験が始まりました！

これまで分科会では、まちづくりに関するアンケートやまち歩きワークショップなどを通して、「車道・歩行空間の幅員構成の見直し」について考えました。

市では、歩行者の安全性を高める取組として、本町通りの一部区間で、西側の歩行空間を広げる交通社会実験を令和元年１０月からスタートしています。今後、この社会実験に対する沿道住民アンケートが実施されるそうです。

名称	本町通り交通社会実験
主体	さいたま市
場所	本町通りのうち、赤山通り交差点から庚申堂交差点の約1.0kmの区間
期間	令和元年10月1日(火)から令和2年3月31日(火)まで（6ヶ月間）



LP 1 中央区役所周辺をはじめとした３拠点の強化分科会
［与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン　リーディングプロジェクト１］

与野本町駅周辺の利便性向上の取組を進めていきます！

市から駅周辺の利便性向上の基本的な考え方（案）について、情報提供がありました。今後はこの考え方（案）等を参考にしながら、駅前空間の使い方等について意見交換を行っていきます。

利便性向上の基本的な考え方（案）
- 周辺や駅前広場の利用状況等を踏まえた交通広場の改善
- 歩行者が安全に移動できる交通環境の改善
- 駐輪場を利用しやすい環境づくり
- 地域と連携したにぎわいづくりやその場となる空間の整備　　・・・・など

与野中央公園整備に係る市の検討状況について共有しました！

市から、基本計画の見直しの検討状況等について情報提供がありました。このような情報も参考にしながら、引き続き意見交換等を行っていきます。

【基本計画の見直し】
- 一体型調節池北側【くさはら広場】（複合スポーツ施設※以外）
  ※複合スポーツ施設：導入機能や施設規模は未定
- 高沼用水路西縁沿い【ふるさとの林～水辺のサイドウォーク】

LP 4 芸術劇場と地域が連携したまちづくり分科会
［与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン　リーディングプロジェクト４］

第2回、第3回分科会を開催しました！

芸術劇場と地域・学校が連携した新規イベントの実施について、意見交換を行いました。イベント当日は、中央区ゆかりのアーティストや与野本町小学校の出演等を予定しておりましたが、残念ながら台風１９号の影響により中止となりました。

このほか、アートストリートエリア内にある配電用地上機器（トランスボックス）に「バラのまち」及び「芸術のまち」をＰＲするためのラッピングを実施するにあたり、デザイン（案）より６柄を選定しました。（右の写真は、全６基中の２基です。）

みなさんもまちづくりに参加しませんか？
- 協議会では、まちづくりの具体的な取組内容や実施に関する検討をしています。中央区内にお住まいの方、お勤めの方で、協議会の目的にご賛同、ご協力いただける方の入会をお待ちしています!!
- これまでの活動や取組について、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会のページ（市ホームページ内）
http://www.city.saitama.jp/001/010/015/006/p051202.html

与野本町　まちづくり推進協議会　検索

こちらのQRコードからもご覧いただけます

【問合せ先】 発行：与野本町駅周辺地区まちづくり推進協議会
さいたま市 都市局 まちづくり推進部 与野まちづくり事務所 管理係
住所　〒338-8686 さいたま市中央区下落合5丁目7番10号（中央区役所4階）
電話　048-840-6153　　ファックス　048-840-6155
メールアドレス　yono-machidukuri@city.saitama.lg.jp

中央区役所周辺をはじめとした３拠点の強化分科会

［与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープラン　リーディングプロジェクト１］

「中央区役所周辺の公共施設再編に係る市の検討状況」を参考に取組を進めています！

・市より中央区役所周辺の公共施設再編について、ゾーニング案と再編対象公共施設案の検討状況について、情報提供がありました。

ゾーニング案

・中央区の将来像
・与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランの取組
・地域住民によるワークショップ　　等

各ゾーンの考え方

- 地域の誇りや愛着を持てる場所の創出
- 地域住民の交流やコミュニティ活動の充実
- 多世代助け合いの促進
- 文化の発信や活動の場の創出によるにぎわいの創出

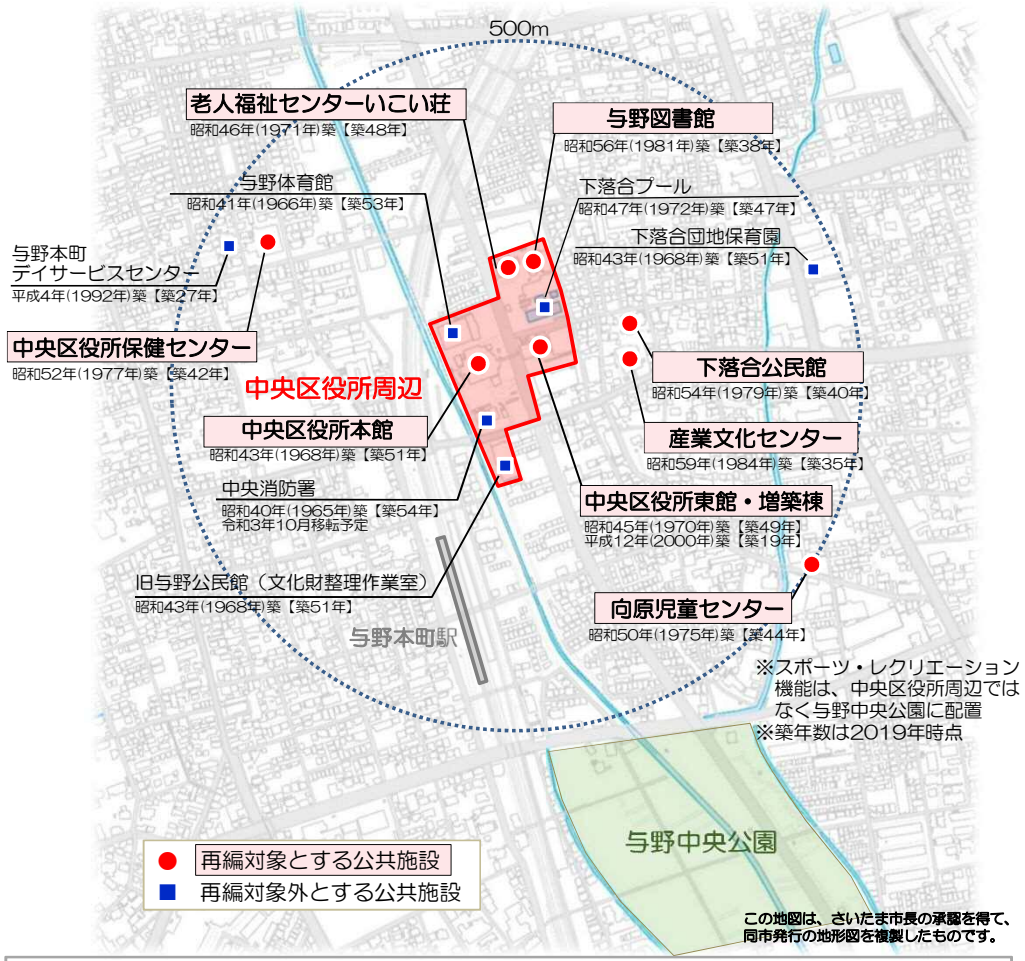
ハートフルゾーン
公共サービスの提供の核となる区の拠点づくり、地域に親しまれる新たな顔づくりを図るゾーン

コミュニティ「ぷらっと」家（ホーム）ゾーン
地域住民に身近な憩える環境を提供し、日常の暮らしにおける地域の交流（家族のようなつながり）を育むゾーン

生き活きくらしゾーン
子どもや子育て世代、高齢者にそれぞれ必要な生活支援サービスを提供し、世代間相互の交流や支え合いを育むゾーン

文化・バイタリティゾーン
新たな文化の創出や、文化の発信や活動の場の創出による地域のにぎわいや地域の活力を生み出すゾーン

再編対象公共施設案



■再編対象公共施設の設定の考え方

・中央区役所を中心とした約１ｋｍ（半径約５００ｍ）圏内を再編対象とする。
・与野本町駅周辺の中心拠点として公共サービス提供の核、文化・交流機能を有する施設とする。（スポーツ・レクリエーション機能は、与野中央公園に配置する。）
・利用者の利便性や地域バランス等を考慮し、サービスの低下等が懸念される場合は、再編の対象外とする。
・ワークショップの意見として集約のニーズが高い機能を再編対象とする。
・民間の施設や機能の導入については、今後サウンディング調査等を行い、民間事業者の提案を受けながら具体的な機能を考えていく。

・提供された情報等を参考にしながら、令和元年12月22日（日）にワークショップ「中央区役所周辺のまちづくり第２弾」を開催し、中央区役所周辺の公共施設等の施設配置の考え方等について話し合いを行いました。

ワークショップの結果は、ニュース第11号でお伝えします。